



菱海中学校校舎改築工事起工式

校舎の老朽化で改築が望まれていた菱中は、清水建設・共栄建設が共同で2億5,800万円で請負い、過る1月12日新造成地で起工式が行なわれました。

校舎は普通教室8室518㎡、理科室等特別教室998㎡、その他1,065㎡、計2,581㎡の鉄筋3階建てで9月30日完成の予定。



向津具公民館・向津具農協竣工

地域住民待望の向津具公民館と向津具農協の併設建物がこのたび完成し、1月10日竣工式が行われた。

この建物は、鉄筋2階建てで、1階468㎡を農協が、2階508.15㎡を公民館が使用するもので、県下でも大変めずらしく、地域の皆さんに多目的に利用していただけることになりました。

フォト・ルポ

新入学児健康診断

今年の町内小学校入学予定児童は156人と昨年の152人に比べて若干増えています。こどもたちは上級生に連れられ、歯・内科診断、聴力・就学時適正検査等、各会場を回わり、もうすぐ1年生と、みんな元気に入學できる日を待っています。(写真は伊上小で)



油谷小でどんど焼き

1月12日、油谷小では全校児童を集めて、昨年に続いて正月の飾りや書き初めの紙などを持ち寄り、どんど焼きを行った。炎の周りでは、竹うま、こままわし、お手玉など昔から伝わる正月の遊びや唄などを歌って楽しい時間を過した。



ヒノキはヒノキ科の常緑喬木であるが、現在巨樹として国指定となっているのは、山梨県南都留郡河口湖北浦の浅間神社境内元駒形神社社地内にあるもので、これは目通り周囲六・九二メートルの巨樹である。
八幡人丸神社御旅所(大字新別名二二三番地の二)のヒノキ巨樹はこれには及ばないが本県ではヒノキ巨樹はきわめて稀であり貴重なものとしており、昭和四四年一月五日山口県教育委員会告示第二八号で天然記念物に指定されている。
このヒノキは、八幡人丸神社の御旅所の御輿台石の左前方にあり、目通り周囲四・七二メートル、根回り七・五メートル、高さ約二〇メートルに達する巨樹で地上五メートルのところでは枝分かれし、枝は下垂しており老樹であることを示しているが、樹令は不明である。



「八幡人丸神社御旅所」のヒノキ巨樹

油谷町の文化財 ②